

パルティ

8

パルティ
ニュー7



CONTENTS

- 2p◆市民活動報告
 - ◆リユースPC寄贈プログラム
- 3p◆登録団体/NEWS
- 4p◆伊勢市防災しみの会
 - ◆防災事業ライブレポート
- 6p◆スタッフレポート
- 7p◆「PANDAファンド」
 - 協力企業募集
 - ◆NPO応援「助成金報告」
- 8p◆センター日記より

音しゃい祭り in サンアリーナ



9月3日(日)三重県サンアリーナで「音しゃい祭り」が開催されました。「おとしやい」というのは伊勢志摩の方言で「びっくりする」という意味で、あまり使われなくなりましたが、さうという狙いがあるそうです。この企画は伊勢周辺の若者たちが連日連夜遅くまで頑張って作り上げました。こんな活動をみんなでは是非応援したいものです。



9月11日(日)三重県サンアリーナで「セプテンバーコンサート」が行われました。セプテンバーコンサートは同時多発テロをきっかけにして2002年の9月11日に人々が「平和への思いを音楽に託して」ニューヨークに集まったことが最初ののだそうです。今年も日本でも、全国各地で何ヶ所かで同時に開催されました。私たちはロビーでバルティマーケットとして参加。今年度から三重県サンアリーナは指定管理者制度で民間の企業により運営されています。以前より身近になったのではないのでしょうか？

セプテンバーコンサート

in サンアリーナ

いせの話題から ◆ 今、三重県立サンアリーナが熱い！
バルティマーケットとして参加したイベント報告

センターフォーラム

「法人格」は簡単にとれても...

いせ市民活動センター通信 第8号

全国で単位未満修得のため高校を卒業できないのではないかと、という問題が起きている。これは、受験戦争という現実とゆとり教育という夢のギャップがその要因にあるようです。教育制度というのは国によって違いますが、アメリカの大学は入るのは簡単で卒業が難しいとよく言われます。自分から学ばないと単位が取れないのがアメリカ式です。日本はその反対ですね。一度入学してしまえば、後は授業に出るだけで自動的に卒業できるみたいなところがあります。NPO法人の制度で考えてみると、法人格を取るのには簡単ですが信頼と実績を積み重ねていくのは大変なことです。つまりNPO法人の制度は、大学制度で言うならアメリカ式と言えます。また、NPO法人を取得するとお金を貰えると思っている方も多いと思いますが、決してお金は貰えません。NPO法人は、活動資金は同様の資金集めの活動を行わないと生まれてきません。当然ながら信頼や実績のある法人にしか資金は入ってきません。ただ活動するだけではお金は出るばかりです。では、メリットの無さそうなNPO法人なのですが、法人格を取る意味があるのでしょうか？

法人格を取るメリットは社会的責任を明確にするということです。また、契約主体となれた可個人と団体の責任を分けやすかつたり、事務所が借りやすいとかのメリットはあるものの、実際は法人格の有無に関わらず、小さくても社会にとって大事な活動の積み重ねが信頼を生むものだと思います。公益法人の改革もありました。慎重に考えて法人格を取るか取らないかの選択をしていったほうがいいかもしれません。ところでNPO法人の制度は特定非営利活動促進法は超党派による議員立法で成立しました。つまり、民間の力が大きく影響して成立した法律なんです。最近では市民の力を借りないと言っているのに行政は言います。しかしながら、今はお金がないから市民にボランティアをやらせようと言っているだけに聞こえます。理想像かもしれませんが、市民で市の条例や総合計画などを作ったり、行政の仕組みに市民が入り込んでいたりすることが本来の意味で市民の力を貸すことになるのではないのでしょうか？もうすぐ新しいクリスマス、日本では商業ベースで広まった習慣ですが、市民活動ではプレゼントを持っていくだけではなく、夢を語るサンタクロースになりたいものです。

NEWS!

「コスモス祭り」で元気なまち創りを。

●朝熊山麓に花を咲かす会

10月22日に登録団体の「朝熊山麓に花を咲かす会」による「コスモス祭り」がサンアリーナ入り口の花の広場で開催されました。今回は、他の登録団体「夕焼けアミー」「NPO団体 我節保存会」「ハートマジック」が参加し、ウクレレ＆フラダンスもあり、イベントを盛り上げていました。

「私たちの活動で元気なまちを創りたい!」この想いを受けとめたかのように赤、白、黄色のコスモスがより一層力強く美しく青い空に輝いていましたよ!



NPO団体 我節保存会のステージから



オレンジの羽根 チャリティーコンサート、ダンス編!

●伊勢

7月29日は、オレンジの羽根(子どもの心を受け止める24時間フリーダイヤル相談)を応援するため、チャリティーコンサート、ダンス編を開催しました。

今回は、ストリートダンスコミュニケーション、ヒップホップ、小学生、高校生、青年の部と15チームが参加して、素晴らしいダンスを披露していただきました。館内には若いエネルギーではちきれそうでした!出演者の多くは、いせ市民活動センターで初舞台を踏み、ここを皮切りにその後いろいろな所で活躍されています。みなさんの発表の場・出発地点として利用していただけたら嬉しいです。

第1回 いせ&まつさが eparts リユースPC寄贈プログラム



公募期間
12月10日～
1月10日

市民活動団体の皆様に再生パソコンを寄贈します

「リユースPC寄贈プログラム」とは、企業からのリユースPCを非営利組織・ボランティア団体・高齢者グループなどの市民活動団体やNPOへと無償で寄贈し、その情報化を支援するプログラムで、NPO法人「eparts」(本拠地・東京都)が主催しています。NPO法人いせコンピニネットでは、平成17年度よりNPO法人epartsと連携し、「いせepartsリユースPC寄贈プログラム」として寄贈活動をスタート。今回は松阪市市民活動センター(Mブリッジ)と連携し、寄贈地域を伊勢及び松阪周辺に拡大しました。

●寄贈対象/伊勢及び松阪周辺で活動をしている公益性を持つ活動(ボランティア活動)を行っている団体で、予算などの諸事情により情報化が遅れている団体

●公募期間/平成18年12月10日～平成19年1月10日(当日消印有効)

●寄贈台数

Windows&Officeコース(3台セット)
4組 計12台

Windows&Worksコース 8台

合計 20台程度

※申請手続きなどは、いせ市民活動センターまでお問い合わせ下さい。

●選考方法及び寄贈式

厳正な選定の上、平成19年1月27日(土)に、結果発表と贈呈式を「いせ市民活動センター」で行います。申請団体は必ずご参加を。

※参加できない場合、寄贈取り消しになる場合もあります。

交流イベント&寄贈式 選考&発表会!

●平成19年1月27日(土)

14:00-15:30

◆パネルディスカッション

テーマ「情報発信のコツ?

成功例プロの技から学ぶ!

15:30-16:20

◆交流イベント(2分間スピーチ)

16:20-17:00

◆寄贈先発表&寄贈式

17:00

◆寄贈先への説明会

交流会イベントでは、市民活動団体が「2分間スピーチ」に当日エントリーできます。
★素晴らしいスピーチをした団体には豪華景品!?を贈呈!

登録団体 紹介!

いせ市民活動センター
登録団体リスト

NEW

モモの会

自然出産や自然育児に興味を持つ母親が集い出産や育児に関する悩みを共有し情報交換を行うなどして、日常に役立つ知識や技術を身に付けより質の高い出産・育児を図っています。

伊勢市広域リサイクルプラザ運営委員会

伊勢市・明和町・玉城町の住民を対象として廃棄物の再利用などを促進し、資源の循環を図る社会の形成に寄与することを目的。環境学習会やもったいない教室などを定期的に行っています。

河崎 川の駅 花木園ボランティアグループ

川の駅「花木園」の管理・維持を目的とするボランティアグループ。川崎商人館の行事、イベントに賛同し参加。古いおもちゃ、水鉄砲、等、子どもも楽しめるイベントを用意し地域の活性化活動を行っています。

男女共同参画れいんぼう伊勢

異文化共同参画社会の実現を目指し、講演会の開催、「パートナーの日」の啓発等、男女共同参画に関する活動を行っています。

伊勢志摩第九を歌う実行委員会

ベートーヴェンの交響曲「第九番」の大きな声を通じ、合唱愛好家の日頃の活動成果の披露と交流の輪を広げ、地域の人たちに音楽と触れ合う機会を提供することにより、音楽文化普及の推進を目的としています。

御園町バレーボール協会

バレーボール関係の企画・及び運営を行い、バレーボールを通じ地域の組織と交流を図ると共に住民の体育文化向上に貢献することを目的としています。

緑と海の合唱団

ふるさと緑と海を愛し、平和で健康そして明るい「うた」の心を大切にす「うた」を歌い語り、ひろめていくことを目指します。毎週木曜日が定例練習日、年間のコンサート開催。

ISE日本国際交流協会

政治・宗教・思想に偏せず、英語圏ボランティア国際交流団体とのホームステイを中心とした親善交流や世界の子ども難民救援の活動、伊勢を世界で最も親しみ易い都市「和」の顔とする活動を推進しています。

手話の会 ひまわり

聴覚障害者の社会参加を支援することを目的に聴者と聴覚障害者が理解し交流が深められるように、勉強会やお誕生会、バーベキュー等をして、楽しみながら手話を広める活動をしています。

いせ市民活動センター南館(パルティ)の会議室や、機材の利用には、団体登録が必要です。登録できるのは、公益活動を行う市民活動団体(個人でも可)。市民活動団体とは、ボランティアグループや、NPOなど、公共に利益を与える活動をしている団体としています。

あなたの団体、サークル・グループはパルティに登録していますか



おっほ〜す

パルティでは、市民活動の支援事業や、広報紙やケーブルテレビ、ホームページなどを利用して広報活動をしており、みなさんの素晴らしい活動を多くの方に知っていただくためにも、ぜひ、ご登録ください。

登録は無料!

11月10日現在、95団体が登録しています

※当センターに登録・利用頂く

対象としているのは、

- 伊勢を拠点として活動している市民団体
- 伊勢市民が参加している市民活動団体
- 伊勢市を拠点として
市民活動・公益活動をしている個人

活動内容として団体の場合は、

- ・公益活動を継続的にやっていること
 - ・3人以上の構成員を有していること
 - ・規約または会則を有していること
 - ・多数決の原則が行われていること
 - ・代表者の権限が明らかなこと
 - ・会計簿を備え、その適切な処置が行われていること
- …などが、利用規程に明記されています。

南館 パルティいせ

の登録団体が利用できる施設・設備について

★利用料金は、下記のとおりです。

- ◆会議室1 100円/時間 20名で利用できます
- ◆会議室2 100円/時間 8名で利用できます
- ◆会議室3 100円/時間 4名で利用できます
- ◆ブース ※現在空いているブースはありません。
- ◆貸しロッカー 200円/月
- ◆印刷機 マスター 40円/(1枚) インク20円/(50枚)
※印刷物を1部提出してもらいます。用紙は持ち込みです。

登録団体以外の方も利用できる設備

- ◆パソコン 50円/時間 主にインターネットにお使いください。
- ◆コピー 10円/(1枚) 用紙サイズに関係なく10円です

★登録団体の活動を広報紙や

ケーブルテレビで紹介しています

いせ市民活動センターでは、「広報いせ」やケーブルテレビ(CV)で市民活動の情報を発信しています。パルティのイベント情報や、登録されているたくさんの市民団体のすばらしい活動を、もっと多くの方に知っていただきたいと思っています。みなさんもぜひ、番組や広報紙でごらんください。



伊勢市防災しみんの会が、動き始めました!

◎防災力をアップしよう!

伊勢市の防災力アップを目的として、平成16年の台風21号の災害時に現場で活動した防災ボランティアのメンバーを中心に昨年、設立した「伊勢市防災しみんの会」。防災活動は、まちの重要課題です。行政と市民が共に考え、連携して進めていくことが必要です。会の設立にあたって、「なにができるのか」「何をしなくてはいいかわからないか」を市民ボランティアや市役所の担当者、福祉関係の担当者などが一緒に議論してきました。

そして、行政と協働による防災の

あり方について企画提案し、様々な団体や企業とも協力しながら、今後様々な活動を進めていこうと考えています。

◎当初取り組みとして

防災力アップのための当初の取り組みとして、子どもの防災力育成、教員の防災力アップ、復興拠点としての学校の役割の検討を行います。

総合学習などで、講座の開催を希望する学校と連携を取りながら防災に関する教育を子供たちに提供する活動がこの秋から始まりました。

●取り組みの趣旨

大地震などの災害が起こった場合、伊勢市でも多大な被害が想定されています。そこでこの取り組みでは、子ども連や教員などを対象に災害時の対応についてのことや防災の考え方を身に付けてもらうことを考えています。

防災講座の実施は防災力だけではなく、災害に備えるための教育を通して自立性や協調性、他人を思いやる心などが子供たちに養われたりすることになると考えています。

●重点目標

★子どもの防災力育成

★教員の防災力アップ

★復興拠点としての学校の役割の検討

2006/10/6 防災事業のライブレポート

伊勢市立城田中学校



今回はしみんの会が初めて本格的にプログラムした事業です。体育館にぞろぞろ集まった中学生たちざっと100人は超えています。山本君の地震津波のお話。阪神大震災、発災の瞬間はいつ見ても迫力があります。

さて一級建築士で構造設計事務所も営む僕の役割は、木造住宅を実際に震度7で揺らして耐震補強をしていないVS56年以前の住宅があつたなく倒壊する映像で地震の脅威を肌で感じてもらうとともに、模型を揺らした実験映像を使って知的興味を引き出そうというもの。山本君の気配りで、話はうまく避難所生活の心得とボランティア精神を啓発する流れをつくりつつ、最後は日赤からお招きしたプロによる、救急法の体験学習へとつながりました。

子どもたちのアンケートによると、百聞は一見にしかず、映像と体験ですぐにふんと意識を高めていただけたようです。よかった。

(伊勢市防災しみんの会・川村)

城田中学校で地震津波 子どもたちの防災意識啓発事業をプログラム!

●城田中学校での実施内容(一例として参考にしてください)
時間/10時40分~12時過ぎ(約1時間30分)
場所/体育館

10:40 訓練開始 学校からのごあいさつ~紹介

10:45 地震や防災ボランティアについて
体験に基づいたお話 山本(伊勢市防災しみんの会)

「地震ってどんなもの?自分ができることって何だろう?」
(プロジェクトで地震の映像も見てもらう。実際の地震の時の映像)

11:10 耐震のお話 川村(伊勢市防災しみんの会)

「大地震が来ると僕たちの家はどうなるの?」
木造の家ってどうやって地震に耐えるしくみのの?」
(プロジェクトで耐震実験の映像も見てもらう。家が簡単に崩れていく様子)

11:20 救急講習 日本赤十字社三重県支部の坂さん

●災害が起こった時にできる簡単な止血法、怪我人の搬送などを体験し、自分でもできると実感してもらう。

★止血法

子どもたちに輪になってもらって、実際に三角巾や風呂敷などを使って止血を体験。

★搬送法

毛布を使って搬送法を体験。

12:10 訓練終了

伊勢市立今一色小学校

●今一色小学校の防災訓練 実施内容(一例として参考してください)

- 1・地震発生及び津波襲来の情報を聞き取る。
- 2・担任、担当者の指示に従い、迅速に避難場所へ避難する。
- 3・避難所(体育館)での避難生活の体験をする。

昨年度、今一色小学校の体育館は、津波発生時における避難所として市指定を受けました。そこで学校の職員が避難児童、地域住民を受け入れ、適切な対応、臨機応変な対応ができるように、また災害が起こったときに迅速に避難することの大切さを子どもたちに知ってもらい、行動できるよう「防災訓練」を実施するにあたり、「防災しみの会」が協力しました。



■訓練スケジュール

10:35~11:00 担任による事前指導

11:00 訓練開始

① 校内放送

「地震が発生しました。危険ですから机の下に避難(第一次避難)しなさい。」

② 校内放送

「揺れがおさまりましたので、担任の先生の指示に従って、すみやかに運動場(火災発生時の第二次避難場所)に避難しなさい。」

③ 避難開始(担任の指示により)

ヘルメットをかぶり、避難経路にしたがって避難する。

※ 校舎外に出たら、駆け足で運動場(第二次避難場所)に避難する。

11:05 避難場所(第二次避難場所)

※ 担任は、人数及び負傷児童の有無を報告する。

※ 全学年の報告終了後、通学団別に並び替える。

11:10 避難開始(第三次避難場所)

※ 津波襲来の通報を受け、校舎2階へ避難する。

④ 通報(口頭で)

「今、津波がくるという連絡を受けました。30分後に津波がきます。五峰山への避難はできないので、校舎の2階へ避難します。下に落ちている物に十分気をつけて、先生の指示に従って、避難しなさい。」

※ 通学団別に各教室へ避難する。 ※ 児童の指導、心のケアを行う。

※ 教室でライフジャケットを身に付ける。

⑤ 通報(ハンコマイクを使用・・・3年生教室前で2回放送)

「津波はなくなりましたが、しばらく避難生活が続きます。この後、担任の先生の言う事をよく聞いて行動しなさい。次の指示があるまで、そのまま静かに待っていなさい。先生方は、職員室へ集合してください。」

11:20 体育館へ移動

11:35 全体指導

12:15 炊き出し給食

※ 通学団別に給食の準備をし、炊き出しの給食を行う。

12:45 訓練終了

・連絡をしっかりと聞くことの重要性
・早く安全な所へ避難すること
・災害によって状況が異なること
・避難所での生活について など

●地震及び避難所での話し

※ 防災ボランティアコーディネーター・養護学級会議員

山本 康史 氏(伊勢市防災しみの会)

●学校長の避難訓練の講話

今一色小学校地震津波想定避難訓練に参加しました。(2006/9/20 水)

教室には子どもたちがヘルメットと救命着を身に付けて集まります。校内放送とともに先生の指導のもと、校庭へと避難をします。やっぱりあわてて走ってしまうんだね。実際には靴に履き替えている余裕はないよね。興味深く見守ります。その後には地震による被害がないと想定して校舎にもどる津波をやりすごす。こんな感じでした。十分に横たわっているきびきびとした訓練でした。

さて、今度はヘルメットと胴着を脱いで体育館へ。われらが議長山本君が地震津波の基礎知識と防災の心得について体験のお兄さんのようにやさしくレクチャー。熱心に聞いてくれています。懇切丁寧に先生たちも念押しをし

ます。

時間はもうお昼。さすがにおなかのすいてきました。と、ここで自衛隊の皆さんのご協力により、非常食を体験するという事で提供していただいたカレー味の缶詰やアルファ米などいただきました。ハンバーグなんかもあって、けっこうなボリュームです。

事業が終わり、後はなごやかに、けれど真剣に先生方と意見交換。もっと効果をあげるためには、一緒に企画を練るところからちょっとサポートして、色んな人たちをつなげてゆく。そんな僕たちの活動がきっと役に立つ。改めてそう思ったのでした。(伊勢市防災しみの会・川村)

スタッフレポート

バルティのスタッフから
8月～10月のバルティ報告です！



垣崎です

伊勢消防署による 普通救命を受講

9月21日に健康センターで伊勢消防署による普通救命講習会を受講しました。内容は、今スポーツ中に突然倒れ意識がなくなってしまうと言う時に救急車の来るまでの数分の間に“AED”という器械を使って人命を救うというものです。“AED”(自動体外式除細動器)とは心臓電気ショックの機械です。当日は救急隊員による人形を使つての実演のあと実際に“AED”を使い訓練して講習は終了しました。

いせ市民活動センターにも“AED”が設置されました。人命救助の面が心強い限りですがまず“AED”のお世話にならぬよう身体を鍛えておきたいものです。



酒徳です

24時間テレビ「愛は地球を救う」 に参加しました

当日にいたるまでに、外宮と内宮をマラソンしようか、ドミノ倒しはどうだろう。24時間でどれくらいの人協力してくれるだろうかと、あれこれと企画を練っている内に今年もまた募金活動だけになってしまいました。

この日にTシャツを買おうと決めていた方、友達同士で集めた募金を持ってきてくれた女性の方、「私も障害者のひとりです。何かの役に立ちたい」と言って、お金の詰まったピンをわざわざタクシーを使ってきていただいた女性の方、その他たくさんの方々にご協力いただきました。現場でもいろんな愛を実感できました。募金額は11,040円でした。来年は伊勢でも24時間テレビ撮影が来てくれたらいいですね。



青木です

NPO支援 ITスキルアップ講座

9月29日活動センターで、名古屋の市民フォーラム21が主催するITスキルアップ講座がありました。内容は、NPO会計とブログの講座でした。会計講座では、

NPOも組織が大きくなっていくと、経理がたいへんだと感じました。ブログ講習では、ホームページで情報発信するツールとしてはブログは最適と思いましたが、パソコンの習熟度によっては、簡単ではありません。各団体がブログで情報発信できるようにサポートさせてもらうセンター事業があるのでそのときには、習熟度別に講習する必要があると思いました。



実習で来ていただいている 花川 俊介さんです

1ヶ月間実習させて頂くことになりました。1ヶ月という短い期間ですが、皆様に少しでもご迷惑をお掛けしないように頑張っていきたいと思ひます。また、この実習を通して色々なことを学び、自分自身のスキルアップになるよう頑張ります。短い間ですが、よろしくお願いします。

NPO活動についてのご相談は、
いせ市民活動センターの
「なんでも相談」で受付けています。

※ご予約ください



伊勢版PANDAファンド

企業の社会貢献と個人の「寄付」の流れをつくります

協力企業を募集中



PANDAとは？

"Public And Nonprofit center for Democratic Advocates"

の略称であり、「社会変革のための公益資源づくり」を意味します。

この伊勢版PANDAファンドを利用して、個人の寄付文化を育みたいと思っています。現在では、寄付先になる団体の選定も終えて寄付先の協力をしてくれる企業を募集しています。是非、ご応募ください。

企業の皆様へ！

- *PANDAファンドに協力することの「企業のイメージアップ」を考えてみませんか？
- *地域貢献による「企業の利益」を考えてみませんか？
- *それにより実際に寄付した先の「活動を見守って」みませんか？

詳細についてのお問い合わせは、いせ市民活動センター
センター長、浦田まで。

※直接、寄付をしたい個人や企業主さんも是非お問い合わせ下さい！

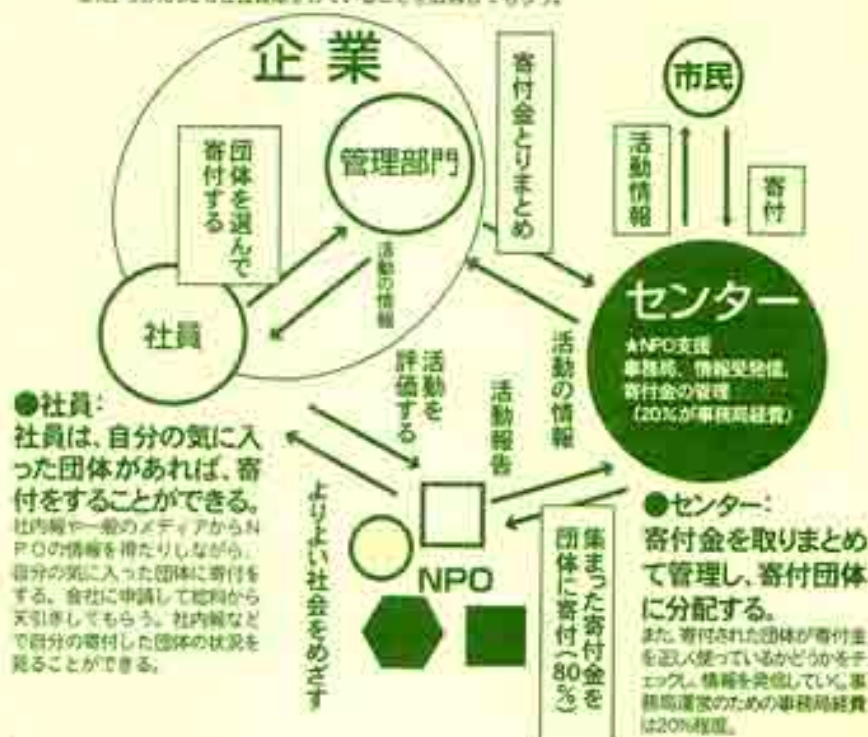
●企業の役割：社員の申告に従って、給料から天引きをする。

例えば月給500円という額から天引きしたお金と希望団体を整理して、センターに引き渡す。

★社会貢献として事務負担をする。

また、社内の広報などで、NPOの情報を発信して、社員に理解を進めてもらう。

また、社外にも社会貢献をしていることを広報してもらう。



●社員：

社員は、自分の気に入った団体があれば、寄付をすることができる。社内報や一般のメディアからNPOの情報を得たりしながら、自分の気に入った団体に寄付をする。会社に申請して給料から天引きしてもらう。社内報などで自分の寄付した団体の状況を見ることができる。

【伊勢市の取り組み】

今年度、伊勢市では
活性化活動補助金が交付されました

市民活動を
応援します！

活性化活動事業補助金審査会

10月1日(日)伊勢市による活性化活動補助金審査会が
プレゼンテーション形式で行われました。

12団体が応募して、補助金を受けられる団体が全部
で9団体、1件あたり10万円以下で総額80万円の補助
金が交付されることに決定されました。

このような補助金事業は市民活動をしている団体に
とっては、とてもありがたいものです。来年度の実施
は未定ですが、このような機会は逃さず、ぜひチャ
レンジしてみてください！助成金などについてもパル
ティから情報発信しています。



センター日記より 2006/8~2006/10

スタッフがバルティで起こった事件?、出来事、訪問者などを日記に書いて、ホームページに掲載しています。

登録団体さんの活躍つづり!

8月03日

ハンザー・イ・ヤッター! いせのサッカーチーム「ベルソナ」が全国アマチュアサッカークラブチーム選手権大会で優勝し三連覇代表として東海大会に出場します。センターの貸しスペースを事務所として使ってもらっていることありますがベルソナのことは他人事とはおもえません。とってもとっても嬉しいです。

8月03日

今日は、外宮にぎわい会議主催による「第九回外宮さんゆかたで千人お祭り」がありました。お天候から、浴衣姿の人達が、外宮前に集まって来て賑やかになってきました。

動物園は、美しいですね。昔からの例入に「春では桜、夏は牡丹、秋は菊、冬は梅」というけれどびっぴりの表現です。男の力もあつて素敵でしたよ。

センター前では、バルティーマーケットの一員で、かき氷を作りました。出前する程人気がありました。ご協力くださいましてありがとうございました。並行して帰ってセンターから見てくかったけど、輪が幾重にもなっていて大盛況でした。日本の文化、日本人であることに触れた1日でした。

8月05日

今日は、かの有名な「EST合唱団」のサマーコンサートが北館シティープラザでありました。「さくら」を聴きました。数は力強く、そして優しく、まるでそこに桜が見わたす限り咲いているような、大地の息吹を感じられるような素晴らしい歌声でした。

「EST合唱団」はこの後、イタリアで行われる「アレッシオ国際合唱コンクール」に出場するそうです。この素晴らしい歌声は会場に集っている各国の人達を魅了することでしょう、頑張っていたいたいです。

コンサートにはわが登録団体「プラテア2000」も参加していました。順上りみるプラテアさんはいきいきしていて素敵でした。(かっこよかったです)もちろん会場も素晴らしいです。

8月6日

今日のシティープラザのイベントは2階がピアノ発表会、1階では岩瀬町のお水曳写真展、夏休み中ということもあって家族連れで楽しんでいました。自分たちの利用目的に合わせて、部屋をアレンジして、雰囲気を作っているのが、スタッフとしても楽しみです。

いろいろな方とのご縁があります

8月08日

今日は7月13日から職場研修でセンターに来ていた中西さんの最終日。この3日間、スタッフ同様に活動していただきました。彼の笑顔や仕事への熱意には、学ぶものが多かったです。

08月11日

「星の月が昇る空」なんと伊勢市が舞台となって繰り広げられる単行本です。もちろん、作者も伊勢市出身の「橋本 祐」氏。100万部も売れており、ラジオドラマ、コミックに続いてアニメ化されてテレビで放送されているそうです。海外からファンが次々来て、名所まわりをしているそう。8月8日に橋本祐氏がシティープラザに来られた時、サインをしていただきました。ほんの数分の会話だったけれど伊勢を想う気持ちに感動しました。早速、本を買ってきました。

08月28日

ご協力ありがとうございました。24時間テレビ「愛は地球を救う」の募金にご協力いただきました。ありがとうございます。やっぱり、今年も感動、感動、涙、涙でした。

夏から秋へ、バルティ近況です

09月16日

センターの冷蔵庫ですが、蓋を開けると水のかたまりになっていました。以前にもこういう状態になったことがあって電源を切ったことがあります。おかげさまでいいですが、解けた水で床に浸水になり、大そうじをするはめになりました。今回は冷蔵庫を外に持っていきます。一階のフリースペースが少しだけ広くなりました。

09月18日

皇學館大学新田部のみなさんにシティープラザを合宿に使っていただきました。定期演奏会に向けての練習だそうです。去年より、メンバーも多くなっていて、レベルアップした感じ(もちろん、演奏は素晴らしい!)。定期演奏会は、12月10日皇學館記念講堂です。

10月13日

下水道工事が終わりました。センターをご利用していただいた皆様には大変ご迷惑をおかけしました。また、通常の駐車となりましたので、よろしくおねがいします。センターは駐車場が狭いのでなるべく公共の交通機関をおすすめします。車でお越しになる方は、出入りの際は充分お気を付けください。

10月13日

中京テレビ放送株式会社・24時間テレビチャリティー委員会事務局より感謝状をいただきました。募金箱は9月末まで置いていました。募金額は110,400円でした。ありがとうございました。只今、新しい募金箱を置いています。

10月21日

今日から「おもと会」による併画展が北館シティープラザの1階ホールで行われています。「併画」とは、併句の心を簡単な絵で表現したものだそうです。「併句」「絵」とともに素晴らしい、素人といえども、プロ並の作品揃いです。

いせ市民活動センター

パルティいせ



伊勢市岩瀬1丁目2番29号

TEL 0596-20-4385

FAX 0596-20-4386

[Email] skc@ise-net

ホームページも、見てね!

<http://skc.e-ise.net>

●貸し会議室の空き状況もチェックできます

■休館日

毎週水曜日

(その日が祝日に当たるときは、翌日以降の休日でない日)

12月29日~1月3日

■開館時間

午前9時
~午後10時

市民活動を支援するための
寄付を受け付けています

いせ市民活動センターは、NPO法人いせコンビネットが指定管理者として、管理運営しています。市民公益活動を支援するために、センターの売り上げ、行政からの助成金、企業や個人からの寄付金を利用させていただいています。

市民活動支援事業に賛助をいただいています!

賛助
企業

- 南部自動車学校
- イセット 株式会社
- 有限会社 東海ネクス
- 株式会社 鈴工
- 有限会社 南勢建築設計
- 財団法人 中部電気保安協会

- 三重県建築士事務所協会伊勢支部
- セッツ設備
- 杉山設備(株)
- 有限会社 大五溶材
- 中勢清通 有限会社
- 株式会社 坂谷自動車工業

- 有限会社 コムデック
- あんず会 まつもとクリニック
- 有限会社 ハクシン
- 芝生の夢倶楽部
- 株式会社 ぎゅーとら

いせ市民活動センター 〒510-0201 伊勢市岩瀬1丁目2番29号 TEL 0596-20-4385 FAX 0596-20-4386 [Email] skc@ise-net